

昭和感覚の政策ではなく
令和時代の政策を！

福山駅前再生も土地交換が白紙
となる見込みであり、真に駅前
に必要な取組の再考を！

ウォンツではなく、ニーズの
先読みこそがこれから令和
時代における政策。

1社だけに恩恵がある
クーポン政策ではなく、
消費者側に納得感ある政策を！

選択肢のある事が豊かさで
あり、モノや量では税金に
限界がある。真の豊かさを。

北産業団地2期事業において
宅地分譲ではなく、未来に必要な
宅地造成を！

時代と流れを読み、未来に
つながらるフレキシブルな政策を。

【今月のテーマ】昭和感覚の政策ではなく令和時代の政策を！！

意見広告

福山市立大学研究生で学び直し!! 連載

NEW!



Q 村上栄二

検索



村上栄二です。

プロフィール

りじょう幼稚園、福山市立新進小学校、福山市立誠之中学校、私立近畿大学附属高等学校福山校近畿大学法学部経営法学科を卒業。大学卒業後、有限会社DC開発研究所にて代表取締役のほか、大阪市議員(1期)を務める。2015年6月からは「地元に戻したい」想いで福山に戻る。広島県議会議員。

北部産業団地2期事業

北部工業団地の第一期事業は完売に15年以上の時間を要した。

第2期事業の分譲予定価格は全国平均の倍で予定とし、採算に疑義が生ずる。

道路整備費用など関連事業予算が膨れ上がる事は容易に予想できる。

三原市本郷産業団地では契約締結済の企業が1億6千万円以上支払って契約辞退。第2期事業で市債(53億円)を投じようとしている。要は借金にならないのか?投資ならば問題はなし。

最近の福山市の政策は場当たりの印象があり、議会でも追及しているのは共産党だけだ。駅前再生も「かつての賑わいを取り戻す」という幻想・しがらみを追いかけている。
・企業を限定し、使用用途もスーツに限定し、消費者側の高校生に選択の余地がないクーポン事業。
【昭和感覚の政策に時代の変化に追いついていないと感じる】
最たる例が昭和時代の事業手法による北部産業団地2期事業だ。



① 政府のカーボンニュートラル政策に基づく長期的な産業創成・戦略を考へるべき。
② 街なかの準工業地域では、当初より立地していた工場の周りに住宅が増えていく。地域住民との軋轢が生じている企業を調査し、第2期事業地区への集約化も検討すべき。
③ アップルカーにより日本の産業構造が根幹から崩壊する可能性も想定しながら分譲地のあり方を考へるべき。
【反対ではなく、見直し。時代の潮流を捉えた造成地の戦略的計画を求める】
次回は見直し案をより詳しく記載しようと思っております。



賃貸マンション、月極駐車場
「空き」あります!

Consort homes

お問合せ

有限会社 DC 開発研究所
☎ 084-999-3166

〒720-0052 広島県福山市東町2-3-2